

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年6月14日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	重油焚きボイラーの高効率都市ガス焚きボイラーへの転換による省エネ事業
承認番号	KC0130
排出削減事業者名	おぼろタオル株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社FTカーボン (その他関連事業者名： 該当なし)
事業実施場所	おぼろタオル株式会社 本社工場 (住所：〒514-0008 三重県津市上浜町3-155)
事業の概要	染色槽の加温及びタオルの乾燥のための重油焚きボイラーを都市ガス焚きボイラーに転換し、省エネを図る。(燃料：A重油 → 都市ガス)
排出削減量の計画	2009年度： 26 tCO ₂ 2010年度： 152 tCO ₂ 2011年度： 152 tCO ₂ 2012年度： 152 tCO ₂ 2013年度： 149 tCO ₂ 2014年度： 157 tCO ₂ 2015年度： 156 tCO ₂ 2016年度： 156 tCO ₂ 2017年度： 130 tCO ₂ (事業実施期間合計 1,230 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2010年2月8日 終了日 2018年2月7日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2018年2月7日（第5回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	898 tCO ₂ (2013年4月1日～2018年2月7日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 5回目のため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 更新された都市ガスボイラーが実績確認期間にわたり継続的に稼働していることを、関係者への聞き取り及びガス供給会社の請求書で確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 関係者への聞き取り、都市ガスボイラーへのガス使用量が記載されている請求書の確認により、方法論及び承認排出削減計画に沿ってモニタリングが実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 関係者への聞き取り、都市ガス使用量検針票及び都市ガス供給会社からのボイラー分ガス使用量の証明の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 関係者への聞き取り及びJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.1等によ

	<p>り、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果をガス会社からの請求データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は2013年4月1日から2018年2月7日までであり、排出削減量を算定した期間が2018年2月7日を超えないこと確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算35.3kL、熱量換算1365 GJであることを確認した。

以上